

日本物理学会 2011 年秋季大会 領域 10 インフォーマルミーティング議事録

1. 日時 平成 23 年 9 月 21 日(水) 12 : 40-13 : 00

2. 場所 富山大学五福キャンパス

3. 連絡事項

- 3.1 任期 2012 年 4 月～2013 年 3 月の領域運営委員を各分野の IFM で決め報告いただきたい。
- 3.2 第 6 回若手奨励賞の締め切りは 7 月 29 日（金）。領域 10 の受章枠は 2 名である。前回応募が無かったため領域 10 は受章者がいなかった。4 月～5 月に物理学会よりアナウンスされる予定であるが、各分野の領域運営委員から分科メンバーへ詳細が領域 HP にある旨通知し、申請を奨励して欲しい。資格は受賞年度の 3 月 31 日現在において 40 歳未満である（この規定について改訂を提案）。
- 3.3 「Journal of the Physical Society of Japan」及び「Progress of Theoretical Physics」(Supplement を含む) に、原則として贈呈年度の前年 6 月から遡って 5 年以内に発表された原著論文が対象となる論文賞は、領域代表が 1 件の推薦枠を持っている。今年には既に募集が始まっているので、応募して欲しい。応募書類は 11 月 11 日締め切りで伊藤次期代表へ。

4. 審議事項

- 4.1 若手奨励賞領域 10 選考要領の改訂について
「原則として受賞年度の 3 月 31 日現在において 40 歳未満であること。」の「受章年度」の定義があいまいなので、「原則として募集締め切り日の翌年 3 月 31 日現在において 40 歳未満であること。」と修正する案が諮られ、承認された。若手奨励賞の授賞は、物理学会の現行の規定では年次大会中に行われることになっており、11 月の領域委員会でこれを 3 月の大会中に授賞と改訂する可能性を検討中。
- 4.2 次期領域代表・副代表の選出について
公益法人制度改革による物理学会の一般社団法人への移行に伴い、法人活動の期が「4 月から翌年 3 月」までとなり、各種委員等の任期もこれに合わせる必要が生じた。領域 10 においては、変則的ではあるが、第 67 期 (2011 年 10 月 1 日-2012 年 3 月 31 日) + 第 68 期 (2012 年 4 月 1 日-2013 年 3 月 31 日) の代表を現副代表の誘電体の伊藤満 (東工大) 氏に、副代表を X 線・粒子線分野の新井正敏 (J-PARC センター) 氏にお願いしたい。理由は、こうしないと、若手奨励賞の審査 (秋の学会 時) の委員長を (副代表として) 前年に経験することなく務める事態が起こり、審査の一貫性を欠く恐れがあるため。原案どおり承認された。

4.3 次期連絡係について

横田 紘子氏

千葉大学大学院 理学研究科 基盤理学専攻 物理学コース

E-mail:yokota@physics.s.chiba-u.ac.jp

をお願いすることになった。

5. 報告事項

招待講演、企画講演が他領域では各数件あるのに、今学会の領域10では0である。各分野で提案に努めて頂きたい。

以上